

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自治会連合会、恩田地域づくり
協議会、自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	200,340 円		助成金充当額	200,340 円
事業対象者	全地区民		参加人数	98人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・総会(26人)、総務班会議 年3回(延べ28人)・「恩田地区率先避難・呼びかけ避難体制づくり」説明会開催(30人)・避難情報発表時の対応「台風14号(9/18)の振り返りの説明会開催(12人)・恩田地区防災士受験者及び自主防災アドバイザー養成研修(2人)			
事業目標	・災害時に備えた備品の使い方確認・避難所開設・運営の訓練			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	防災研修会参加人数	40人	98人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・2022年9月18日15時00分(台風14号)警戒レベル3高齢者等避難が発令された(土砂、高潮)。よって、「避難情報発表時の対应手順書」を見直し、自主防災会役員で情報を共有した。今後は、各団体の自主防災会役員が迅速に対応できる。・コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者が密集する恐れのある防災訓練を中止。			
事業効果	・皆で協力しようという気運が高まった。・避難所運営マニュアルの作成につながった。・災害に強い地域の絆づくりの推進、災害時に備えた備品の使い方確認ができた。			
今後の課題等	・各自治会の連絡網の整備。・防災訓練の参加者を増やし、地域住民一人一人が防災・減災に対する意識向上を図る。・災害時では、「自助・共助・公助」を実現できるよう、体制作りをする。・恩田地区で防災士取得者を増やす			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

体育振興会、老連、歩こう会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	312,412 円		助成金充当額	312,412 円
事業対象者	全地区民		参加人数	727人
事業内容	・宇部市大会ソフトボール(12人)・ソフトバレー(23人)・バレー(8人)カローリング大会(32人)、ニュースポーツ体験講習会(36人)・体育振興会総会4/12(41人)・体育振興会役員会議9回(延べ141人)・老人クラブ連合会総会4/29(33人)市老連スポーツ大会10/20(18人)・研修旅行11/30(30人)・文化祭バザー11/13(5人)・演芸大会11/23(12人)・地区老連研修会(30人)・新年会1/21(42人)・ベタンク大会5/17・9/29(50人)・グランドゴルフ9/15(6名)・宇部まつり11/6(11名)・登下校見守り・老連役員会(延べ60人)歩こう会役員会3回(延べ24人)下見1回(延べ7人)、歩こう会①長門(36人)②冠梅園(30人)、校区の境を歩こう(琴芝)・(岬)延べ40人			
事業目標	・校区民に身近に運動を取り入れてもらう。・毎月第3水曜日に保健師による健康相談 令和3年4月～翌3月11回(100人)令和4年(168人)			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	保健師相談日の利用者1割増	110人	168人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・老人クラブは、昨年購入したベタンクで大会を開催・歩こう会は、地区内の散策を含め4回の事業を行った・体育振興会の各競技大会を行うことができた。・体育大会の参加者は200人を目標にしていたが達成できなかった。(111人)			
事業効果	・老人の健康づくり・独居老人の交流の場の創出・出会いが期待できる・保健師による相談可能日に健康チェックなど地区の備品を活かす。・地区内住民の体力向上と相互の親睦をはかる			
今後の課題等	・宇部市の大会に出場する地区予選の開催がなく参加者が減少している。・参加したくなるような体振にするため、若い人の入会や意見を取入れ魅力ある組織にしていく必要がある。・歩こう会が役員の高齢化により存続が難しい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)

(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル、子ども委員会、恩田小学校運営協議会、常盤中学校運営協議会、恩田地域づくり

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	180,050 円		助成金充当額	180,050 円
事業対象者	全地区民		参加人数	1597人
事業内容	・まちづくりサークル年7回(延べ145人) 恩田ふれあいセンター花壇整備(2回)/恩田小学校清掃作業(2回)/出前講座(3回)・常盤中試験前学習(延べ302人・5回) 3学期は中止・75歳以上独居の方へ年賀状作成(恩田小5年生含む150人)あて名書き(民協)・恩田小屋休み学習(延べ880人・1回40人×22回)・昼休み学校で遊ぼう!(中止)・昼休みコンサート(中止)・パウロさんと踊ろう(中止)・運動会バトン部演技(中止)・夏祭り吹奏楽演奏(中止)・バトン部演技(中止)、文化祭バトン部演技(中止)、文化祭生徒会発表(中止)夏祭りサッカー部準備片づけ手伝い(中止)、ジュニアリーダー年間(中止)高校生ボランティア冬まつり(20人)・門松づくり中学生手伝い(20人)本土手整備参加中高校生含む(80人)			
事業目標	学校に出向く、学校から校区の行事にスタッフとして参加してもらうなど交流			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	地区民と小学校児童、中学校生徒数3割が参加する	3,600人	1597人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・これからも学び合い・親睦・貢献の3つの目的を大切に活動したい。(まちづくりサークル)・心のこもった年賀状を書くことができた。(子ども委員会)・定期テスト中なので、塾に行く生徒等が多い中でも学習に興味のある生徒が集まり、ほぼ予定通りの生徒が参加した。(常盤中)			
事業効果	・会員の方は高齢者が多く家にいるより外に出て活動することで元気をもらう。・ボランティアで地域の中に入りやりがいを感じる。(まちづくりサークル)・お年寄りへの思いやりの心を育むことができた。(子ども委員会)・学力向上の目標を達成するために、生徒も教員も意識づけの意味で効果がある。(常盤中)児童が自ら進んで参加し、地域の方に学習を支援していただき心の安定につながっている(恩田小)			
今後の課題等	・現在の会員は高齢者が多くもっと若い人も入会していただくよう広報する。(まちづくりサークル)・子ども教室で年賀状を書いてくれる子どもを増やす。(子ども委員会)・家庭学習のきっかけとなるような開催の仕方を考えたい。(常盤中)・地域の方に学校や児童の様子を知っていただく大切な機会。児童の学力向上につながるように地域と学校が連携して取り組んでいけるとよい。(恩田小)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

恩田地域づくり協議会

事業名	4	地域づくり行事運営事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	443,080 円	助成金充当額	371,400 円	
事業対象者	全地区民	参加人数	1792人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 各行事参加者・スタッフ延べ人数 (350人) ・地区体育事業ウォーキングチャレンジ (92人) ・空港グランド清掃常盤中学生含む (130人) ・地区文化事業ウォークラリー (120人)、文化祭来館 (500人) ・新年互礼会 (中止) ・冬まつり (600人)			
事業目標	夏祭り (中止)、文化祭、新年互礼会 (中止)、冬まつり			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	地区人口の1%が各行事に参加する	123人	合計1792人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ウォーキングチャレンジ; 宇部市のはつらつ健幸ポイント事業と合わせて参加者を募り、コメント欄に保健師さんから一言記入してもらうなど工夫した。			
事業効果	ふるさと恩田への愛着心の増加、今後も各行事で小中学校との連携を大切にして運営し、子どもからシニア層までが楽しめる行事ができた。			
今後の課題等	・コロナ禍で夏まつりは中止となった。若い人に継承する時のことも考え、次年度の再開の際に夏まつりの規模をよく考えていきたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献 (課題解決・魅力創出) につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

老連、おんだ翼、子ども委員会、恩田地域づくり協議会

事業名	5	三世代交流事業			
事業期間	令和4年4月～令和5年3月				
決算額	187,316 円		助成金充当額	100,000 円	
事業対象者	全地区民		参加人数	368人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・門松作り(60人)中学生参加・常盤公園イルミネーション作品作成3回(延べ93人) ・おんだ翼定例会年10回(延べ60人) ウィンドウアート3/26(80人) ・打ち合わせ5回2/8・2/15・3/6・3/10・3/14(延べ75人)				
事業目標	・センターを中心に1年の無事を祈りながら門松を製作し絆を深める・三世代交流行事により地域への愛着と子どもは地域で育てると意識の醸造を図る。				
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績		
	三世代交流行事創出・参加人数	5回 210人	5回・368人		
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・各団体の既存の行事等を団体間で共有し新たな取り組みを創出				
事業効果	・皆で協力して取り組むので、新しい人間関係が構築された。・若い力を借りて、頼もしかった。・中学生に下絵(炭都宇部の過去と未来)をよく考えてもらいウィンドウアートに参加してもらい「この街が大好き」という気持ちになってもらうきっかけづくりになった。				
今後の課題等	・中学生が門松作りに参加、顧問と協力しながら指導するが、部活単位での参加の為意欲の少ない生徒も一定数あり。お互いに貴重な体験をしているので、地道に活動を続けていきたい。・伝統の伝承活動の強化・住民から輪飾りづくりに参加したいという問合せがあった。・昨年(R3)に引き続き子どものアイデアを取り入れたイルミネーションの製作を行った。・ウィンドウアート(常盤中美術部)では、講師と事前打ち合わせを行い考えながら制作を進めることができた。				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	②	3
	今後も事業継続できますか		1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 交通安全協会恩田分会、見守り
隊

事業名	6	交通安全事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	85,000 円		助成金充当額	85,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	4873人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・交通安全教室2回・新入学児童交通安全教室4/22 (140人) ・春・夏・秋・年末交通安全週間活動 (400人) 秋の交通安全週間啓発活動国道 (6人) ・登校時見守り活動 (延べ4200人) ・啓発旗の設置/収納管理・会議年10回 (延べ40人) ・自転車教室(中止) ・夏休み前交通指導 (26人) (社会福祉協議会主催) 協力・見守り隊総会 (24人) 見守り隊研修会 10 / 1 (25人) ・見守り隊役員会2回 (8人) ・啓発活動 (1日・15日・研修)、どんと焼き交通整理 (4人)			
事業目標	・子どもの安全確保			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	児童の交通事故0	0	0	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・隊員にアンケートで危険箇所をあげてもらい、宇部警察署交通課よりアドバイスをもらい書面での回答をした。 ・平日の朝と午後の活動はなかなか難しい面がある。 ・新隊員の1人増加			
事業効果	・あいさつのいきかう地域をめざして、事故もなく見守りができた。 ・コロナ禍でも多くの人が見守り活動に参加して下さり子供から大人まで元気をもらえた。			
今後の課題等	下校時の見守り体制の強化 本年度は月1回 (第2水曜日)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふれあい運動推進委員会、子ども
会育成連絡協議会

事業名	7	青少年の健全育成事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	195,000 円		助成金充当額	195,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	974人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ふれあい定例会9回(108人)〔恩田小、常盤中の担当教諭も出席〕小中連携や地域と学校の調整を担う・中学生の下校指9回(36人)、少年の非行防止、健全育成のための相談及び補導活動・街頭歩道(ショッピングセンター含む)9回(38人)やスタッフとして行事参加3回(18人)・総会4/15(21人)・レクリエーション7/11(小学生59人、家族等72人、ジュニア22人)・市子連ドッチビー8/6(28人)、クリスマス会12/25(小学生75人、ジュニア16人、保護者72人)・安全研修会(22人)・野外活動10/10(39人)・感謝式12/26(157人)・定例会/行事前担当者会議10回(延べ140人)・市子連会議出席8回(10人)安全研修会(35人)地域行事7/16,1/8 2回(6人)			
事業目標	・子どもたちが安心して安全に暮らせる地域づくり(ふれあい)・次世代育成(子ども会)			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	・子ども110番の家の旗設置個所の増加 ・地域内の駐輪場自転車の鍵施錠率	・1軒/年 ・80%	・1軒 ・70%	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・子ども110番の家の設置個所1軒増が達成できたのは、街頭補導など日頃の活動から設置場所を考えているから。・自転車の鍵施錠率の目標を達成できなかったのは、学校等への呼びかけ、地域住民への周知不足。(ふれあい) ・ (恩子連)			
事業効果	・青少年の健全育成と非行防止及び安全確保(ふれあい)・地域の人とのふれあいが増え、愛着が芽生える(恩子連)			
今後の課題等	・子ども110番の家設置において、地区内にバランスよく設置する。・街頭補導の日時について子どもたちに会う機会が少ないので試行錯誤しているが、健全育成・犯罪抑止に貢献できていると思うので工夫して取り組む(ふれあい)・子ども会は子どもと保護者を地域と結びつける大事な団体だが、子ども会離れが進んでいる。加入率が全体の約10%に低下・子ども会の良さの広報活動の強化・時代のニーズに合う子ども会の運営を検討する、役員負担の軽減など(恩子連)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会恩田支部

事業名	8	ごみ減量化事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	149,297 円	助成金充当額	75,000 円	
事業対象者	衛生部長、ゴミ減量推進員、地区民	参加人数	696人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ごみ減量視察研修参加者 (12人) ・燃やせないごみの分別指導 (55人) ・地区運動会ではゴミ分別競技 (中止) ・冬まつり神事後にポイ捨て禁止の啓発活動実施 (11月100人・1月延べ200人) ・地区内空き缶拾い2回 (7月、10月延べ61人) ・理事会4回 (延べ12人) ・段ボールコンポスト講習会6月・9月 (27人) ・段ボールコンポスト申請件数 (98件) ・環境美化活動助成 (1件) ・ボランティアチャレンジデー (130人)			
事業目標	ごみ分別・ゴミ減量の意識向上と推進、段ボールコンポストの拡充			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	段ボールコンポスト普及	100件	98件	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナの為、講習会ができなかった。令和3年度28件から令和4年度98件に3倍普及が伸びた。			
事業効果	・段ボールコンポストの申請は昨年の3倍以上で、ゴミ減量化の意識が高まった。			
今後の課題等	・多くの方にごみの減量化を知ってもらい、段ボールコンポストを普及させる。・中学生が毎週水曜日に学校周辺の美化活動をしているので、空き缶拾いなどで何か一緒にできることはないか引き続き検討する。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献 (課題解決・魅力創出) につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

恩田地域づくり協議会、自治会連合会、
女性部会、センター運営委員会

事業名	9	地区活性化運営事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	574,889 円		助成金充当額	327,598 円
事業対象者	全地区民		参加人数	573人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・地域づくり協議会役員会年間11回 (延べ275人) ・地域づくり協議会三役会年間12回 (延べ60人) ・運動会実行委員会 (中止) ・夏祭り実行委員会6/16・7/14 (20人) ・文化祭実行委員会8/30・10/28 (18人) ・冬まつり実行委員会11/24 (7人) ・門松づくり実行委員会11/17 (7人) ・企画検討委員会 (中止) 女性部会総会4/17(22人)空港清掃7/16(10人)文化祭準備11/12(12人)冬まつり1/8(4人)子どもサポートへの参加(4人)、自治連総会 (27人)、新任自治会長研修会6/18 (26人) 第2回自治会長研修会 (25人)、第3回自治会長研修会2/11 (27人)、理事会4回 (延べ29人)			
事業目標	・お互い理解を深め情報交換する。			
	数値目標	令和4年目標	令和4年実績	
	HPユーザー数の増加	人口の1割・1243人増加	4800人【R3】→1.1万【R4】	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・日々の活動をHPに掲載していくことで1年で6000人の閲覧者の増加。・自治会の世帯数が少ないところは研修会の出席率が悪い、世帯数が多い所は悩みも多く情報交換しながら運営をしている。			
事業効果	・よく見られている頁などの解析をもとに魅力あるHPをめざしていく。・ウォーキングチャレンジは好評で継続、地域づくり協議会を身近に感じてもらえるようになった。・文化祭で動画の紹介コーナーを設けよく見てもらえた。(恩田地域づくり協議会) ・緊急性の高いセンター内備品の交換、補修ができた。地域住民の要望に迅速に対応でき安全性を確保できた。(センター運営委員会) 団体としてできる事をしっかり行い地域活動を身近に感じることができた。(女性部)			
今後の課題等	今後は行動制限もなくなり、多くの行事実施があると思うが団体の存在意義を考え積極的に参加できたらいいと思う。(女性部会) ・地域づくり協議会主催の行事を再開の際には、後続の方に継承を考え行事の規模を練る。また構成団体の日々の活動を知ってもらう広報活動に力を入れた結果、ユーザーが1.1万人を超えて更なる魅力的なHPづくりのために工夫する(地域づくり協議会)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和4年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

社会福祉協議会、母子保健推進
事業実施団体 委員会、民生児童委員協議会、見
守りネットワーク

事業名	10	福祉活動事業		
事業期間	令和4年4月～令和5年3月			
決算額	232,000 円		助成金充当額	220,000 円
事業対象者	全地区民		参加人数	3743人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・定例会10回(90人) ・敬老品配布スタッフ(500人) ・敬老事業対象者(2260人) ・お楽しみ昼食会2回(対象者110人・スタッフ30人参加) ・ひよこランド5回(162人) ・ひよこミルク11回(45人) ひよこリラックス4回(55人) ・研修会4回参加 ・赤ちゃん訪問(69人) ・子育てをしている方がほっと一息できる楽しい場所 ・オレンジほっとサロン12回(延べ222人) 体操 ・ゲーム ・歌 ・クイズ ・作品づくり ・体力測定 ・出前講座 ・介護相談、見守りネット定例会隔月6回(80人) ・認知症学習会6/11・7/4・9/5・11/7・2/6(120人)			
事業目標	高齢者、子育ての若者の居場所作り(講話・手作り・体力測定・体操・音楽会)			
	数値目標	令和5年目標	令和4年実績	
	行事への参加者増	R3 3368人	3743人	
	・高齢者対象の行事がようやく開催できた。 ・子育て中の親子の参加事業は人数制限を行い予約制で開催の為参加者が減少傾向にある。R2参加者(3216人) R3参加者(3368人) R4参加者(3743人)。			
事業効果	・参加者が進んで行事などお手伝いをしてくださるようになった。(オレンジほっとサロン) ・敬老品の配布では、福祉委員、民生・児童委員、自治会役員が協力し高齢者とふれあうことができた。 ・次年度は福祉委員の役割を再認識し無理のない範囲で高齢者の見守り活動を行う。(社協) 親同士の情報交換の場所(母推) 認知症への理解が深まった。認知症サポーターの中からプラチナサポーター「あおぞら」誕生(見守りネット)			
今後の課題等	・会場が狭いので、15人位の目安で進めたい。(オレンジほっとサロン) ・事前予約制(地区内5組までに限ることで参加者数が減った)(ひよこランド) ・老若男女の多くの人と出会える居場所作りを考えたい ・スマホ教室を地区で開催したい(社協) 幼児・保護者を巻き込んで楽しめる工夫(母推) プラチナサポーターの活動の継続(見守りネット)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	2	③